

20230120【海外安全対策情報】中央ビサヤ地域におけるデング熱症の死亡者数について

【ポイント】

●フィリピンの複数のメディアにおいて、フィリピン保健省はこのほど、2022年1月1日～12月17日に確認されたデング熱の感染症例は22万705件で、前年同期の7万8223件の約2.82倍に大幅増加したと発表し、その中で、死者数が最も多かったのは、中央ビサヤで103人となった旨報じられています。

●1月6日付の領事メールで在留邦人の皆様にお知らせしました1月23日（月）関西医科大学衛生・公衆衛生学講座西山利正教授による「感染症に関する健康安全講話」の中でもデング熱に関する講話も予定しておりますので、参加をご希望される場合には、事前登録をお願いします。

【本文】

1 フィリピンの複数のメディアにおいて、フィリピン保健省はこのほど、2022年1月1日～12月17日に確認されたデング熱の感染症例は22万705件で、前年同期の7万8223件の約2.82倍に大幅増加したと発表し、その中で、死者数が最も多かったのは、中央ビサヤで103人となった旨報じられています。

2 デング熱は、病原ウイルスを持ったネッタイシマカ、またはヒトスジシマカ等に刺されることによって感染するため、蚊に刺されないことが予防策となります。長袖・長ズボンなどの着用により肌の露出を少なくし、昆虫忌避剤（虫除けスプレー等）を使用する等十分な防虫対策を行うことが肝心です。感染すると、通常は激しい頭痛、眼球深部の痛み、関節痛や筋肉痛、発疹等が現れ、発熱が5日間ほど続きます。重症化すると、まれに死亡率が高いデング出血熱やデングショック症候群を発症することもありますので、感染が疑われる場合は、速やかに医療機関で受診するようにしてください。

3 1月6日付の領事メールで在留邦人の皆様にお知らせしました1月23日（月）関西医科大学衛生・公衆衛生学講座西山利正教授による「感染症に関する健康安全講話」の中でもデング熱に関する講話も予定しておりますので、参加をご希望される場合には、以下リンク先に掲載しましたお知らせより事前登録をお願いします。

●20230106【総領事館からのお知らせ】関西医科大学衛生・公衆衛生学講座西山利正教授による「感染症に関する健康安全講話」の開催について

<https://www.cebuph.emb-japan.go.jp/files/100443209.pdf>

4 下記も併せてご参照、ご活用ください。

●在セブ総領事館作成「セブにおける安全対策（安全の手引き）」（2022年4月版）

<https://www.cebuph.emb-japan.go.jp/files/100346381.pdf>

●外務省ホームページ（世界の医療事情：フィリピン）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/phili.html>

・・・・・・・・・・・・・・・・

※この情報は、在留届、及び「たびレジ（本登録）」に登録されたメールアドレスに自動的に配信されております。「たびレジ」簡易登録された方で、メールの配信を変更・停止されたい場合は、以下の URL から停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>

※災害や騒乱等が発生した際、ご家族、ご友人、同僚を守るため、一人でも多くの方に安全対策に関する情報が届くよう、在留届（3か月以上の滞在）の届出、又はたびレジ（3か月未満の滞在）の登録を、お知り合いの方や出張者・旅行者にご案内いただけますようお願いいたします

（問い合わせ窓口）

○在セブ日本国総領事館

住所：8th Floor, 2Quad Building, Cardinal Rosales Avenue, Cebu Business Park, Cebu City, Philippines

電話：（市外局番 032） 231-7321

FAX：（市外局番 032） 231-6843

ホームページ： https://www.cebuph.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html